

## 令和 3 (2021)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	骨免疫系による生命機能制御ネットワーク
研究代表者	高柳 広 (東京大学・大学院医学系研究科・教授) ※令和 3 (2021)年 7 月末現在
研究期間	令和 3 (2021)年度～令和 7 (2025)年度
科学研究費委員会審査・評価 第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b></p> <p>本研究は、骨免疫系を軸とした全身制御ネットワーク（オステオイムノネットワーク）を理解することを目的としている。</p> <p>骨免疫系の発生と維持を明らかにし、それが全身の様々な臓器や免疫を統合的に制御するメカニズムを明らかにすること、骨免疫疾患の病態解明と疾患制御、さらには腫瘍の骨転移とそれによる全身への影響を明らかにすることを目指す。</p> <hr/> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b></p> <p>本研究は、応募者が様々な研究により確立してきた骨免疫学を更に発展させようとするものであり、独創性の高い研究である。創薬ターゲットとしても注目されている分野であり、波及効果も大きい。</p> <p>骨免疫系の分子的な実体を解明することができれば、その破綻によって生ずる疾病の病態理解につながることを期待される。また、全身制御ネットワークを統合的に理解できれば、従来の医学生物学の枠組みを革新することも期待できる。</p>